

## ご挨拶



在上海日本国総領事

## 片山 和之

皆様、はじめまして。8月22日に新しい在上海日本国総領事として当地に着任しました片山和之と申します。1983年に外務省へ入省後、北京での留学と3度の在中國日本国大使館勤務を経験してきましたので、中国での生活は今回で5回目となります。

初めての上海訪問は1984年のクリスマスで、まだ改革・開放政策が上海には本格的に及ぶ前、上海で一番高いビルは南京路の国際大廈だった頃ですが、若者達はダンスパーティーに興じていました。1992年にも天皇皇后両陛下に随行して上海を訪問しました。浦東地域も今のように開発が進んでおらず、まだ農地が広がっていた頃で、浦東地域の農家を訪問する両陛下に随行しました。それから20年余り、世界有数の国際都市に発展し、中心部には高層ビルが建ち並ぶ上海で初めて勤務することとなり、大きな期待と少しの不安を持って当地にやって参りました。

これまで香港、北京、米国、マレーシア、ベルギーで勤務し、直前にはデトロイトの総

領事をしていましたが、各地で日系企業の皆さんの活躍を目の当たりにしてきました。中国経済の成長鈍化に対する懸念や、株価下落や為替変動といった注意すべき要素はありますが、成長に伴い内需も拡大している隣国中国は日本にとり最重要なマーケットの1つであることに変わりありません。当地において事業を展開されている日系企業の皆さんをお支えするべく、最大限の努力をしたいと思います。日系企業の皆さんにとって頼りになる総領事館、「敷居の低い」総領事館を目指して、当地での生活やビジネスを行っていくうえで直面する貿易、投資、安全上の諸問題の改善について、総領事館としても可能な限りご支援させていただきたいと思います。

最後になりますが、世界最大の日系商工会組織として、会員企業向けの事業のみならず、日本人学校への支援、日中文化交流にもご尽力されている上海日本商工クラブの皆様との、緊密な協力を楽しみにしております。宜しく願いいたします。